

第5世代移動通信システム(5G)の実現に向けた 第5回グローバル5Gイベントの開催概要について

第5世代モバイル推進フォーラム事務局
一般社団法人電波産業会

1. はじめに

グローバル5Gイベント（以下、「5Gイベント」と言う）は、日本、欧州、米国、中国、韓国、ブラジルの第5世代移動通信システム（5G）に関する6つの推進団体*が締結したマルチラテラル覚書（MoU）に基づき、5Gの早期実現に向けた課題や協力関係の構築のため、専門家が一堂に会し情報交換や意見交換を行うもので、年2回、各国・地域の持ち回りで開催される。第1回が2016年5月に北京（中国）で、第2回が同年11月にローマ（イタリア）で開催された。第3回は、2017年5月に総務省主催、5GMF共催により東京で開催され、第4回は、同年11月にソウル（韓国）で開催された。

5Gイベントの運営は、覚書の署名団体が共同で運営（オーガナイザー）を務めることになっており、6団体の事務局を中心にTPC（Technical Program Committee）が設置され、運営方針、プログラムの策定やモデレータ・スピーカーの各団体への割当て等の審議が行われている。

本稿は、第5回イベントに参加した、総務省、5GMFからの参加者の協力を得て、5GMFの事務局を務める一般社団法人電波産業会が作成した。

2. 第5回5Gイベントの開催

第5回5Gイベントは、米国5G Americas主催により「5G New Horizons Wireless Symposium」をテーマに、2018年5月16日～17日の2日間にわたり、米国テキサス州オースチンのオースチン コンベンションセンターにおいて開催された。政府

関係者、通信事業者、機器メーカ、大学、研究機関等から約300名の専門家等の参加があった。

今回は、同一会場において、5G North Americaが開催され、5Gに関するセッションや展示が並行して行われた。

2.1 開会式

開会にあたり、5G AmericasのChris Pearson会長から歓迎の挨拶があり、続いて会長とFCC Legal AdvisorのUmair Javed氏が登壇し、オークションの可能性を含めて周波数の割当てを中心とした対談が行われた。

2.2 セッション

冒頭に「The Progress of 5G Spectrum and regulatory Policy」に関するセッションがあり、6か国の政府関係者が出席し、日本からは総務省新世代移動通信システム推進室長の中里学氏が登壇した。講演では主に、5Gのための周波数の検討状況や実証試験の実施状況、サービスの開始時期等が報告され、パネル討論では、他の無線システムとの共用検討を踏まえた周波数協調の重要性が指摘された。

続いて、1日目には、5つのショートプレゼンテーションと次の3つのパネルディスカッションが行われた。

(1) Global Operator Viewpoints

日本からは、松永彰氏（5GMF技術委員長代理/KDDI）が登壇した。

(2) 5G Trials and Pre-Commercials Launches: Concreate Results and lessons Learned

日本からは、奥村幸彦氏（5GMF 5G実証試験推進グルー



■写真1. 会場（オースチン コンベンションセンター）



■写真2. 講演会場（グローバル5Gイベント）



■写真3. 展示会場（5G North America）

* 日本：第5世代モバイル推進フォーラム（5GMF）、欧州：5Gインフラストラクチャ協会（5G-IA）、米国：5Gアメリカ（5G Americas）、中国：IMT-2020（5G）プロモーショングループ（IMT-2020（5G）PG）、韓国：5Gフォーラム（5G Forum）、ブラジル：5Gブラジルプロジェクト（5G Brazil）



写真4. Mr. Chris Pearson
President of 5G Americas



写真5. 中里 学氏
新世代移動通信システム推進室長
総務省



写真6. 松永 彰氏
5GMF技術委員長代理
KDDI



写真7. 奥村 幸彦氏
5GMF総合実証試験推進グループ
リーダー、NTTドコモ



写真8. 佐藤 孝平氏
5GMF事務局長
ARIB



写真9. 中村 隆治氏
5GMF技術委員長代理
富士通



写真10. 中村 武宏氏
5GMF企画委員長代理
NTTドコモ



写真11. Dr. Jose Marcos C. Brito
5G Brazil Project代表



写真12. 第6回グローバル5Gイベントの告知

ブリーダ/NTTドコモ) が登壇した。

(3) 5G Trends and Collaborations: Regional Trends and Inter-Regional Cooperation Activities

日本からは、佐藤孝平氏 (5GMF事務局長/ARIB) が登壇した。

2日目には、2つのショートプレゼンテーションがあり、そのうち1つを中村隆治氏 (5GMF技術委員長代理/富士通) が行った。また、次のパネルディスカッションが行われた。

(1) 5G Services and Use Cases: The Future of High Speed, Low Latency, Large Capacity

日本からは、中村武宏氏 (5GMF企画委員長代理/NTTドコモ) が登壇した。

(2) 5G Ecosystem: Chips, Infrastructure, Security, Devices, Artificial Intelligence and More

日本からは、中村武宏氏 (5GMF企画委員長代理/NTTドコモ) がモデレータを務め、中村隆治氏 (5GMF技術委員長代理/富士通) が登壇した。

(3) The Future of 5G: The Ultimate 5G Experts Panel

日本からは、中村武宏氏 (5GMF企画委員長代理/NTTドコモ) が登壇した。

ショートプレゼンテーションやパネルディスカッションを通じて、5Gの商用化を間近に控え、活発な議論の中から、周波数等の制度整備、5Gの利活用分野の企業との連携、4Gからの移行方法、5Gのシステム展開、ネットワーク機能との連携、ビジネスモデル等の検討促進の重要性の指摘が各国との間で共通認識として示された。

セッションの最後に、ブラジルの5G Brazil Project代表の Jose Marco C. Brito氏から、次回第6回5Gイベントをリオデジャネイロ (ブラジル) で開催することが、宣言された。

3. おわりに

第5回5Gイベントを振り返ると、5Gの取込みをビジネスチャンスと捉え、早期導入のため機器の開発や具体的なシステム展開を議論する米国からの参加者が印象的であった。

また、2020年の国際標準に基づく実用化に向けて時間が限られてきたことから、5Gに関するグローバルな交流の場として、本5Gイベントの開催がさらに重要性を増すものと考えられ、次回ブラジルでの開催が期待される。なお、ブラジル開催で5G推進団体の持ち回りによる開催が一巡するため、5Gイベントの在り方を含め今後の活動計画が議論される予定である。

総務省はじめ、5GMF関係者の皆様のご協力に感謝いたしますとともに、引き続きのご支援をよろしくお願いいたします。